



「探究する学びと日本の教育の旅ー信州教育」

一般社団法人 こたえのない学校代表・藤原さとが昨年12月に上梓いたしました『「探究」する学びをつくる』の中では、アメリカに「公正」を基軸としたプロジェクト型学習を行うことで、経済的に不利な状況にある家庭の子どもたちが約半数を占めるにも関わらず、驚異的な大学進学率を誇るハイ・テック・ハイという*公立チャーター校をご紹介します。この学校のいう「公正」とは「生まれた家庭の環境や身体的・認知的特性に関わらずにすべての子どもが自分に価値を感じ、幸せに生きていく」ことを指します。一方で、もともと日本には優れた「探究する学び」「プロジェクト型学習」があります。

その中でも、特に100年の歴史に亘って公教育の中で脈々と真正な実践が受け継がれてきた「信州教育」が育む「生きる力」の力強さに感服しています。この度、信濃教育会会長の武田育夫先生をゲストにお迎えし「信州教育」についてのお話をお伺いながら、海外事例との共通点や相違点、日本だからこそできることについて新しい発見をしていく対談「探究する学びと日本の教育の旅ー信州教育」を開催いたします。

*公立チャーター校：米国では教育に関する権限は州にあり、州法でチャータースクール設置の許可が定められています。民間組織が設立を希望し認可を受けた後、公的資金の援助を得て設立、民間で運営する学校のことをさします。

主催：一般社団法人 こたえのない学校
後援：公益社団法人 信濃教育会

日時：2021年3月28日(日)
10:00~11:30

形式：オンライン
(zoom ウェビナー)
※お申し込みの方には前日まで
にzoomのURLをお送りします。

費用：無料

定員：先着300名様

お申し込み：3/26までに
下記QRコードを読み取って、
または下記フォームからお申し
込みください。



武田 育夫

公益社団法人 信濃教育会会長
千葉大学理学部卒業、長野県内中学校教員として勤務。
長野県教育委員会指導主事、主任指導主事など歴任し、
波田町立波田中学校教頭、伊那小学校校長、長野県教育員会教学指導課、
伊那中学校校長。

公益社団法人 信濃教育会 <http://www.shinkyō.or.jp>



藤原 さと

一般社団法人こたえのない学校代表理事
慶應義塾大学法学部政治学科卒業。コーネル大学大学院修士（公共政策学）。
日本政策金融公庫、ソニーなどを経て、「良質な探究学習の一般普及」をミッションに
2014年一般社団法人こたえのない学校を設立。2018年、経産省「未来の教室」事業の
採択を受け、世界屈指のプロジェクト型学習を行うHigh Tech Highの教員研修プログラ
ムの日本導入に携わる。2020年12月『「探究」する学びをつくる』（平凡社）を上梓。
こたえのない学校 <https://kotaenonai.org>
Learning Creator's Lab <https://xtanqlcl.kotaenonai.org>



モデレーター 石山 れいか

長野県公立学校教員
軽井沢西部小学校在籍・軽井沢風越学園勤務

軽井沢西部小学校
<https://www.town.karuizawa.lg.jp/www/contents/1001000000914/index.html>
軽井沢風越学園
<https://kazakoshi.ed.jp>

【お申し込みフォーム】

<https://forms.gle/S2NfHRXSyUAtEiSZ6>